OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	語文　第78輯　編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2002, 78
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/69007
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

『語文』第七十八輯をお送りします。ご覧のように、文学四編、語学一編の論文を得ることができました。

さて先日、大阪大学国語国文学会主催で、「国際化の中の日本文学研究―その課題と方法への模索―」という国際シンポジウムが行われました（平成十四年三月二日・待兼山会館）。マイケル・ワトソン氏、マーク・メリ氏らの講演に続いて、大阪大学で日本文学を学ぶ各国の留学生たちが、日本文学を専攻した動機、学んで行くにあたっての喜び、悩みなどを率直に語ってくれました。遠くからやってきた彼ら・彼女らの、日本文学に対する熱い思いに接し、参加者一同、深い感銘を受けました。

私も、たまたまではありますが、この編集後記をロサンジェルスで書いております。カリフォルニア大学ロサンジェルス校東洋言語文化で共同研究の傍ら、若干の講義も担当して、日本語の歴史を教えています。

日本の学問の国際的な発進が強く求められていると言われます。ついに日本文学にもその波が及んだかとお感じになるかもしれませんが、むしろ、日本文学であるからこそ、国際的な発信に意味があるのでしょう。大学自体が大きく揺さぶられている昨今、日本文学を含めた日本学は、国際化を果たしていくことによって、大学再生の一つの機軸となっていくのではないかとの思いがいたします。

（担当・金水）

語文　第七十八輯

平成十四（二〇〇二）年五月二十五日　印刷
平成十四（二〇〇二）年五月三十一日　発行

編集・発行者　大阪大学国語国文学会
〒560-8532　大阪府豊中市待兼山町一―五
大阪大学大学院文学研究科
国語学国文学研究室
代表　伊井春樹
振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一
電話　〇六―六八五〇―五一一一

印刷　天理時報社